

## 第3章 | 東京が果たすべき役割

### 01 世界における役割

#### (1) 多様な人材・知・文化の交流から、 新たな価値を創出する

東京は、一都三県に約3,700万人を擁する世界有数の大都市圏の中心であり、政治・経済・産業の高度な集積に支えられた、大規模で安定感と信頼感のあるマーケットを有しています。この集積は、単なる市場規模にとどまらず、知識や技術のシェアリング、多様な人材と企業のマッチング、相互の学び合いを通じて生産性を高める基盤となっています。

また、江戸開府以来400年にわたり培われてきた歴史・伝統をはじめ、近代から現代に至る各時代のレイヤーが都市空間に重なり合い、最先端の技術や先鋭的な芸術と共存していることも東京の大きな特徴です。こうした時間の積み重ねと多様な自然環境が結びつくことで、地域ごとに異なる個性を持つまちが育まれ、世界に類を見ない都市の多様性を形成しています。

こうした経済的な厚みと文化的な奥行き、都市空間の多様性を基盤として、世界中から多様な人材・企業・知・文化を惹きつけ、それらが集い交わるハブとしての機能を担うことが、東京に求められます。

異なる価値観や技術の交差から、新たなイノベーションやビジネスモデル、文化的価値が持続的に創出され、東京発の価値が世界へと広がっていくことにつながります。

#### (2) 都市課題の解決モデルを構築し世界に示す

東京は、世界に先駆けた急速な少子高齢化・人口減少の進行や切迫する大規模地震の脅威に加え、気候変動に伴う災害リスクの激甚化など、今後世界の多くの都市が直面する都市の持続可能性そのものを問う課題にいち早く向き合っています。

これらの課題や変化にしなやかに適応するとともに、AIやロボット技術といった都市の姿を大きく変えるテクノロジーを暮らしの中に柔軟に受け入れる社会的な受容性や、高度に集積した都市を安定的に運営してきた知見を生かし、世界の範となる解決モデルを先導的に構築・発信する役割を果たすことが、東京に求められます。

東京が実証した都市モデルが、同様の課題に直面する世界の諸都市に共有・応用され、地球規模の都市課題の克服に貢献することが期待されます。

### 02 日本における役割

#### (1) 首都として、日本経済の持続的成長を牽引する

東京は、人・モノ・情報・資本が高度に集積し、地域ごとに異なる個性を持つ産業集積が形成されています。同時に、公園、水辺、農地、樹林地など多様な緑が身近に存在し、鉄道やバスによる移動の利便性が高いなど、暮らしの質においても独自の厚みを備えています。

経済的な集積と暮らしの質の相乗効果によって、日本経済の持続的成長を牽引するエンジンとしての機能を担うことが、首都・東京に求められます。

経済的活力と、人々が豊かに時間を使える都市としての魅力が一体となり、長期的な投資と人材を惹きつけるとともに、人・モノ・情報のダイナミックな移動と交流を生み出し、日本全体の国際競争力と持続可能で豊かな社会の実現を支える原動力となります。

#### (2) 様々な地域と連携し、活力を日本全体に循環させる

東京は、広域的な交通・情報ネットワークの結節点に位置し、首都圏のみならず日本各地と密接に結ばれています。こうしたネットワークの充実に伴い、地域間の物理的・時間的な距離が縮まることで、地域や人の結びつき方そのものも多様化しています。

こうした広域的なネットワークの更なる充実や都市機能の高度な集積を進め、東京のゆるぎない成長につながる更なる投資を呼び込み、新たな産業や価値を創出するとともに、東京に集積する活力と各地域の強みを相互に結びつけ、人材・知識・投資を日本全体に循環させる機能を担うことが、首都・東京に求められます。

東京と各地域が一方方向の依存ではなく双方向の循環で結ばれ、首都圏及び日本全体の競争力が一段と高まり、持続的な発展につながります。